



Omiyanosato 園だより お宮の里幼稚園

平成 24 年 12 月 10 日 発行

園長 有益 節子

く年今デ縦
な齡まし割
り児でのり
まの以おの
し遊上かわ
たびにげく
。が、でわ
多異、く



てた手 らりごい園ら
い飛を一楽、った庭せお
てび差先しフこりで、宮
嬉出し生くし、は寒の
しし出、遊プた元、さ森
くてし手ん遊り気砂をの
な遊まをでび、に遊一竹
りびす触いをボ走び層林
まに。つましりに感を
す行休てすたル回夢じ北
。く憩ー。り蹴り中さ風
姿すと とり先にせが
はる冷、し生なる強
、とた 朝たとっ中く
見まい か 鬼て、揺



インフルエンザ Q&A

Q:インフルエンザにかからないためには、どうすればいいですか。

- A ①流行前のワクチン接種
- ②咳エチケットが効果的
- ③外出後の手洗い等

Q:外出は、どのくらい控えればいいのかですか？

A:発症前と発症してから、3~7日間はウイルスを排出するといわれています。

幼稚園児は、発症後5日経過し、かつ解熱後3日をインフルエンザの出席停止期間としています。(症状により、医師の判断で短い場合もあり。)

インフルエンザ

○インフルエンザの発病は急激で高度の発熱、頭痛、腰痛、筋肉痛、全身倦怠感などの症状が現れる。鼻汁、咽頭痛、咳などの呼吸器症状が現れる。

○発症直前から、発病後3日程度までが感染力が特に強いとされる。

- 予防のポイント
- 休養・バランスのよい食事
- 手洗い、不織布製マスクの着用
- 流行前のワクチン接種

うめ子すし 行すーどた今
おのど。い元く。わも。朝
願用もし声気こ思あた登は
い心たかがにどい！ち園小
致をちし園走も思ーはし雪
し心も、庭りたいと、が
まが出こに回ちに追先着舞
すけての響るでそい生替う
。てきとき子すれかがえ寒
下て期渡ど。ぞけ外がさ
さい体つも れてに終に
いま調てた のい出わな
ますをいち 場きるっり
す。崩まの 所まとたま
よ早す 楽 に、子し

まん延を防止するために

嘔吐物等からの二次感染を予防する必要があります。幼稚園でも気をつけていますが、ご家庭でも十分ご注意ください。

Q:吐物等を処理する際の注意事項は？

A:嘔吐症状が強い時は、ウイルスが吐物と共に排泄されます。拭きとりに使用したものも含め速やかに密閉し廃棄しましょう。

衣服等は洗剤を入れ静かにもみ洗い(85℃1分以上の熱水洗濯)をしましょう。

ノロウイルス等による 感染性胃腸炎Q&A

Q:手洗いの仕方は？

A:ごくわずかなふん便や吐物が付着した食品でも多くの人を発症させます。

流水で石鹸を泡立て食事の前、トイレ後に十分洗うことでウイルスを手指から剥がれやすくする効果があります。

Q:調理器具の殺菌の仕方は？

A:エタノールや逆性石鹸はあまり効果がありません。

塩素系の漂白剤で浸すように拭くこと、85℃以上で1分以上の加熱が有効です。

ノロウイルス等による 感染性胃腸炎

ノロウイルスは手指や食品などを介して、経口で感染し人の腸管で増殖し、おう吐、下痢、腹痛などを起こします。

ワクチンがないので予防対策を徹底しましょう。

①加熱が必要な食品は中心部までしっかり加熱する。(85℃以上で1分間以上の加熱で)

②感染した人のふん便や吐物には大量のウイルスが排出される。汚物処理は塩素系の漂白剤を用いましょう。

お親絵コ
待子本
ちでのナ
し楽読
てしみ遊
まい聞び
す制かム
作せ

*室なへ★未
先をか十毎親入
生開よ時週子園
と放し半火で児
遊しル囉遊の
夕ぼて十(ぼ
イういム一原う
まや時則教室
す遊半一
。戯



5日(水)わくわくでーに、
光悦園山口理事長さん
が今年も焼き芋のプレゼ
ントをして下さいました。
「おいしいね」言いながら
ほっかほっかのお芋を楽
しくいただきました。

